

施策評価シート

施策コード	4203	平成27年度 第9次鳥取市総合計画		
施策名	中心市街地の活性化	所属名	都市整備部	中心市街地整備課

1. 基本情報

位置 づけ の 計 画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○本市の中心市街地は、県東部地域最大の交通の要衝である鳥取駅を有し、多くの商業機能、文化機能が集積した経済・交流の中心であるが、自家用車の普及などにより、歩行者通行量の減少、空き店舗の増加、居住人口の減少などが進んでおり、魅力とにぎわいの創出が課題となっている。</p> <p>○平成25年3月に「第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画」の内閣総理大臣認定を受けた。この計画では、「街なか居住の推進」「賑わいの創出」を基本方針に据え、既存ストックの活用による街なか居住の推進や地域資源の活用等による観光交流の促進など、重点施策を中心に各種施策に取り組んでいく。</p>
めざす方向	中心市街地と周辺地域の生活拠点とが連携した魅力ある多極型のコンパクトな都市づくりを進める中で、都市機能が高度に集積した、魅力とにぎわいのあふれる中心市街地へ再生を図る。
達成するための対策・手段	①鳥取駅周辺エリアの再整備 ②街なか居住の推進 ③商店街のにぎわい形成 ④鳥取城跡観光の推進

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果 指標	1	中心市街地居住人口	人	目標	12700	12800	12850	12900	12950
				実績	12504	12387	12407	12360	12447
				目標達成率	98%	97%	97%	96%	96%
		(指標の説明) 「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口。(基準値は平成21年度)							
	2	中心市街地の休日の歩行者通行量 (30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
				実績	40073	35671	43812	52160	44477
				目標達成率	111%	96%	115%	134%	111%
		(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計。(基準値は平成22年度)							
	3			目標	0	0	0	0	0
実績				0	0	0	0	0	
目標達成率									
(指標の説明)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	90,266	82,040	95,703	111,329	253,210

5. 施策の成果【CHECK】

施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)	平成27年度は「第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画」が計画期間の3年目となる年であった。基本計画掲載全59事業のうち9事業が完了、45事業が実施中、5事業が未着手。基本計画の目標指標は達成しつつあり、引き続き中心市街地活性化に向けて各種事業の推進を図る。
---------------------------------------	--

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載	中心市街地の活性化は、本市が進める「多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくり」を実現するための柱である。「第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画」に基づく関連事業の推進を図り、「街なか居住の推進」と「賑わいの創出」についてさらなる効果を求める。

事務事業評価シート

事務事業コード	001940	重点事業区分	リープロ3	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取駅周辺再生整備事業(太平線再生)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	補助金交付
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費			予算事業コード	01-07-05-01-31-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取駅前太平線沿道の商店街等
意図 (どのような状態にするために)	官民共同により人が集まる魅力的な空間に変え、中心市街地再生のシンボルスクエアとする。
手段 (どうするのか)	太平線で開催するイベントを支援することにより、太平線への来街者呼び込み、駅周辺の活性化を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成24年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成25年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成26年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成27年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	
	年度別実績	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	22,084	37,469	15,728	15,432	13,752	
	直接経費 A	20,360	33,533	4,800	11,671	10,073	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,046	16,766	0	0	0
		地方債	7,100	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,214	16,767	4,800	11,671	10,073		
人件費 B	1,724	3,936	10,928	3,761	3,679		
職員数の内訳	正規職員	0.23	0.53	1.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
	実績	40073	35671	43812	52160	44477			
(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計									
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P198（都023）</p> <p>【事業の概要】 市道駅前太平線「バード・ハット」の利活用に関する運營業務を商店街振興組合に委託するとともに、イベントの開催に対し支援を行うことにより、鳥取駅周辺への集客による賑わい創出を図る。</p> <p>【事業の成果】 駅前商店街や各種団体等が主体となり、集客力の向上に資するイベントを実施することで、来街者の呼び込みによる鳥取駅周辺の賑わい創出を図った。 イベント開催時以外の平日歩行者通行量は、バード・ハット整備以前より増加傾向にあり、プロジェクトの効果が見え始めている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">イベント件数</td> <td style="text-align: center;">来街者数</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td style="text-align: center;">38件</td> <td style="text-align: center;">84,749人</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">26件</td> <td style="text-align: center;">51,810人</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">26件</td> <td style="text-align: center;">45,850人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 駅前太平線バード・ハットの管理運営、イベントに対する支援について内容を精査していくとともに、商店街等の活性化につながる仕組みづくりを検討したい。</p>		イベント件数	来街者数	平成25年度	38件	84,749人	平成26年度	26件	51,810人	平成27年度	26件	45,850人
		イベント件数	来街者数										
平成25年度	38件	84,749人											
平成26年度	26件	51,810人											
平成27年度	26件	45,850人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%	134%	111%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、駅周辺のイベントによる集客数や歩行者通行量が増加傾向になるなど有効な事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input checked="" type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	同種のイベント開催補助金が別事業にあり、事業実施形態も若干の違いがあり、効率性が低いと考えられるため、見直しを行う。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	若干の補助事業者の固定化があるものの、新規事業主催者も大幅に増え公平性は確保されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成27年度は補助を受けて開催したイベントが26件あり、約4万6千人の来街者を呼び込んだ。歩行者通行量は駅前太平線周辺でバード・ハットオープン以降、整備以前より大幅増となっており、賑わい創出が徐々に定着してきている。本事業は駅周辺の再生、賑わいの創出に不可欠なものであり、官民一体で効果・検証を踏まえながら今後もイベントを支援していきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001942	重点事業区分	リープロ3	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取駅周辺再生整備事業(鳥取駅周辺整備)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	外部委託
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	鳥取駅周辺再生整備事業費			予算事業コード	01-07-05-01-31-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取駅周辺地区
意図 (どのような状態にするために)	「多極型コンパクトシティ」の実現に向け、今後30年を見据えた中心核としての再生を図る。
手段 (どうするのか)	基本計画にもとづく施設整備の実施設計・工事および事業調整を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 鳥取駅周辺再生基本計画の策定、事業調整業務	平成24年度 基本計画にもとづく施設整備の基本設計、事業調整	平成25年度 基本計画にもとづく施設整備の実施設計および事業調整	平成26年度 基本計画にもとづく施設整備の実施設計・工事および事業調整など	平成27年度 基本計画にもとづく施設整備の実施設計・工事および事業調整など	
	年度別実績	鳥取駅周辺再生基本計画の策定、事業調整業務	鳥取駅周辺再生基本計画の策定、事業調整業務	基本計画にもとづく施設整備の実施設計および事業調整	基本計画にもとづく施設整備の実施設計・工事および事業調整など	基本計画にもとづく施設整備の実施設計・工事および事業調整など	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	46,297	13,829	33,587	19,100	32,165	
	直接経費 A	26,580	1,353	22,659	7,817	21,129	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	7,906	0	989
		地方債	0	1,000	7,400	6,800	17,000
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	26,580	353	7,353	1,017	3,140	
人件費 B	19,717	12,476	10,928	11,283	11,036		
職員数の内訳	正規職員	2.63	1.68	1.50	1.50	1.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
			実績	40073	35671	43812	52160	44477	
	(指標の説明)	中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計							
2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P198（都024）</p> <p>【事業の概要】 本市がめざす「多極型のコンパクトなまちづくり」の実現に向け、駅南北の回遊性の向上と人が集まり交流できる賑わい空間の創出により鳥取駅周辺の再生を図る。</p> <p>【事業の成果】 「鳥取駅周辺再生基本計画」に位置付けた事業の推進のため関係機関との事業調整等を行った。また、鳥取駅周辺の市民や観光客の利便性の向上のため、鳥取駅北口の風紋広場にトイレを整備した（平成27年8月供用開始）。</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取駅周辺再生基本計画では、「駅南北の回遊性の向上」、「動線整備と併せた賑わいの創出」をコンセプトに各種事業を計画している。今後も事業の推進のため、各関係機関等との調整協議を行っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%	134%	111%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、目的は妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、駅周辺の通行量も増評価理由 加しており有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	鳥取駅周辺は中心市街地の核であり、重点的に活性化策を講じる必要があるため、賑わい創出の施策として効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取駅周辺は中心市街地の核であり、重点的に活性化策を講じる必要があるため、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>鳥取駅周辺再生基本計画では、様々な事業を計画している。平成27年度は鳥取医療看護専門学校のオープンと合せ風紋広場に鳥取駅北口トイレが完成した。今後も基本計画に位置付ける事業を実施していくとともに、関係者等の調整協議を行い事業の円滑な推進を図っていく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001920	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	街なか居住推進事業(街なか居住)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	直営
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	街なか居住推進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-35-03	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地への居住希望者、空き家・低未利用地の有効利用を希望する所有者など
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地の空き家や低未利用地などの既存ストックの利活用の促進と転入施策の強化により、新規居住者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	住宅供給に関する総合的な相談窓口の設置や街なか居住に関する情報発信、新規居住者に対する支援などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	12,710	23,345	9,691	11,087	11,326
	直接経費 A	565	12,577	3,717	4,317	4,705
	国・県	187	8,281	205	2,145	2,324
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	378	4,296	3,512	2,172	2,381	
人件費 B	12,145	10,768	5,974	6,770	6,621	
職員数の内訳	正規職員	1.62	1.45	0.82	0.90	0.90
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	中心市街地居住人口	人	目標	12700	12800	12850	12900	12950
				実績	12504	12387	12407	12360	12447
	(指標の説明)「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口								
2	中心市街地居住人口(社会増減数)	人	目標	0	0	1	1	1	
			実績	0	0	13	173	-1	
(指標の説明)「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口(社会増減数)									
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3276</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P195（都018）</p> <p>【事業の概要】 第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画では、「街なか居住の推進」を基本方針とし、既存ストックの利活用の促進と転入施策の強化により、新規居住者の増加をめざしている。 。住まいに関する総合的な相談窓口の設置や街なか居住に関する情報発信、新規居住者に対する支援などを行うことにより、中心市街地への転入促進を図る。</p> <p>【事業の成果】 ○住まいに関する総合相談窓口の設置 ・住まいの情報ネットワークの運営 ○街なか居住推進のための公的支援</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>・街なか居住推進アドバイザー派遣</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・鳥取市街なか住宅取得事業利子補給金</td> <td>—</td> <td>2件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>・鳥取市街なか空き家改修支援事業補助金</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>○街なか居住体験施設の運営 ○鳥取市空き家情報バンクの設置</p> <p>【今後の課題・方向性】 コンパクトで効率的な都市運営を行ううえで中心市街地への居住の集積は不可欠である。これまでの各制度の評価を行うとともに、より効果的な施策内容を検討したい。</p>		平成25年度	平成26年度	平成27年度	・街なか居住推進アドバイザー派遣	0件	2件	1件	・鳥取市街なか住宅取得事業利子補給金	—	2件	6件	・鳥取市街なか空き家改修支援事業補助金	0件	1件	0件
		平成25年度	平成26年度	平成27年度													
・街なか居住推進アドバイザー派遣	0件	2件	1件														
・鳥取市街なか住宅取得事業利子補給金	—	2件	6件														
・鳥取市街なか空き家改修支援事業補助金	0件	1件	0件														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 中心市街地居住人口	98%	97%	97%	96%	96%
	2 中心市街地居住人口(社会増減数)			1300%	17300%	17300%
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	さまざまなニーズに応じた制度を導入することにより、中心市街地の居住促進を図っている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	居住人口は前年度と比べ増加となっており、施策全体の成果として転入促進につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施策の成果として中心市街地の居住人口の増加につながっているが、さらなる転入促進のためには各制度の見直しも必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内外に広く制度の周知を図っている。補助事業に関しては効率性も含め見直しを検討したい。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画では、街なか居住の推進を柱の一つとしている。中でも情報提供は重要なところであり、住まいの総合相談窓口(住もう鳥取ネット)に加え、H27.1月には空き家情報バンクを創設し、問い合わせ件数も増加傾向にある。支援策は街なか居住への動機を促すものとして必要であり、これまでの取り組みの成果を検証するとともに、効果的な方策を考えていきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001923	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中心市街地活性化事業(イベント助成事業)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	補助金交付
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中心市街地活性化助成事業費			予算事業コード	01-06-01-02-26-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地で開催されるイベント
意図 (どのような状態にするために)	集客を増やし、活力や賑わいの回復による中心市街地の再生を図る。
手段 (どうするのか)	中心市街地内で公募提案型集客イベント等を実施する者に対して補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助	・イベント実施者へ補助	・イベント実施者へ補助	
	年度別実績	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助	・イベント実施者へ補助	・イベント実施者へ補助	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,621	6,448	6,793	6,772	6,119	
	直接経費 A	5,871	5,928	5,336	5,268	4,648	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,871	5,928	5,336	5,268	4,648	
人件費 B	750	520	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.07	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
				実績	40073	35671	43812	52160	44477
	(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P197(都021)</p> <p>【事業の概要】 中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援することにより、中心市街地への集客による賑わい創出、中心市街地に対する関心喚起、中心市街地活性化に取り組む人材の育成をめざす。</p> <p>【事業の成果】 年間を通じて来街者の呼び込みにつながっているほか、さまざまな媒体を通じてイベント情報が発信されることにより、中心市街地への関心喚起が図られている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">補助件数</td> <td style="text-align: center;">参加者数</td> <td style="text-align: center;">新規主催者数</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td style="text-align: center;">16件</td> <td style="text-align: center;">21,343人</td> <td style="text-align: center;">3件</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">14件</td> <td style="text-align: center;">24,125人</td> <td style="text-align: center;">4件</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">15件</td> <td style="text-align: center;">20,596人</td> <td style="text-align: center;">11件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 公募提案型イベントに対し支援を行うことで、まちづくりを担う人材育成や交流の拡充につながっている。新規や発展性のあるイベントへの支援とともに、自立促進支援も併せて実施する必要がある。</p>		補助件数	参加者数	新規主催者数	平成25年度	16件	21,343人	3件	平成26年度	14件	24,125人	4件	平成27年度	15件	20,596人	11件
		補助件数	参加者数	新規主催者数													
平成25年度	16件	21,343人	3件														
平成26年度	14件	24,125人	4件														
平成27年度	15件	20,596人	11件														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%	134%	111%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の魅力を高め、賑わい創出等を図るためイベントの誘致が必要不可欠である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中心市街地への関心を高めるとともに、企画立案者の育成も期待できることから、有効性の高い事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	公募提案型のイベントを支援することで、中心市街地への関心を高めるとともに、企画立案者の育成も期待できることから、効率性の高い事業である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	公平性の確保はされつつも、初期事業から発展性を持ち合わせる事業も増えている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	中心市街地で公募提案型イベントを実施することで、普段街なかに訪れない方にも中心市街地への関心喚起が図られるとともに、企画立案者の育成にも寄与している。支援が固定化せず、特に新規主催者を増加させるよう、また、賑わい創出へ発展性のあるものについての支援を考えたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001926	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中心市街地活性化推進事業(市民交流ホール)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	補助金交付
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市民交流ホール運営費補助金			予算事業コード	01-06-01-02-26-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地内の重要な拠点である弥生にぎわい拠点(パレットとっとり)の市民交流ホール
意図 (どのような状態にするために)	多様化する市民交流ネットワークの拠点として、市民生活交流や多様な市民活動を促進し、中心市街地の賑わいを創出する。
手段 (どうするのか)	市民交流ホール運営者に対して管理運営費等を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	
	年度別実績	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,648	12,418	17,726	12,650	12,134	
	直接経費 A	11,898	11,898	11,898	11,898	11,398	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,111	1,167	2,826	1,286	1,350
	一般財源	10,787	10,731	9,072	10,612	10,048	
人件費 B	750	520	5,828	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.07	0.80	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
		実績		40073	35671	43812	52160	44477	
	(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 市民交流ホールは単なる商業基盤だけでなく、市民交流ネットワークの基点であり、また、中心市街地における多様な市民交流の場としての公共的な施設に位置付けられる。 ホール運営は収益力が低いため、管理運営費のうち人件費の10/10、その他の管理費について4/5を補助する。 併せて、市民交流ホールの利用料金を減免した額のうち、市内に事務所を有する団体が行う文化芸術活動等に係るものに対し補助する。</p> <p>【事業の成果】 市民交流ホールの安定的な運営、利用促進により、中心市街地の賑わいが創出されている。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>利用件数</td> <td>来館者数</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>508件</td> <td>17,428人</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>446件</td> <td>15,209人 (※H27.3は改修工事のため使用停止)</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>541件</td> <td>20,546人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 中心市街地活性化を継続的に推進するために、引き続き市民交流ホールの運営支援を行うとともに、より効率的な運営方法について関係者と検討する。</p>		利用件数	来館者数	平成25年度	508件	17,428人	平成26年度	446件	15,209人 (※H27.3は改修工事のため使用停止)	平成27年度	541件	20,546人
		利用件数	来館者数										
平成25年度	508件	17,428人											
平成26年度	446件	15,209人 (※H27.3は改修工事のため使用停止)											
平成27年度	541件	20,546人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%	134%	111%
	2					
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民交流ホールは市民活動の拠点となる施設であり、目的はほぼ妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民交流ホールは市民活動の拠点となる施設であり、事業は概ね有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input checked="" type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	費用対効果については平成25年度の外部評価で指摘を受けた経過がある。ホール設置者や管理者と協議しながら、より効率的な運営方法について検討を要する。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	ホール運営に係る補助事業の対象者は限定され公平性はないが、市民交流ホールの利用については広く一般市民に開放されており、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	バレットと通りの市民交流ホールは、多様な市民交流の場として公共的な役割を担っており、市民古流ホールの集客を高めることは、拠点性を高めるとともに周辺商店街への賑わいの創出に資するものである。補助金については、関係者と継続して協議を行い運営方法など見直しを検討する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001924	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	チャレンジショップ運営事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	外部委託
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	チャレンジショップ運営費			予算事業コード	01-06-01-02-26-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	創業を希望する市民
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地での新規開業を支援することにより、次世代商業者の育成及び空き店舗の解消を図る。
手段 (どうするのか)	新たに創業・開業をめざす市民のうち、中心市街地の空き店舗に出店する創業者に対し、家賃補助を行うとともに、専門家による経営指導や店舗PR等の支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 出店者の募集、入居、管理運営、広報	平成24年度 出店者の募集、入居、管理運営、広報	平成25年度 出店者の募集、入居、管理運営、広報	平成26年度 出店者の募集、入居、管理運営、広報	平成27年度 出店者の募集、管理運営、広報	
	年度別実績	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、管理運営、広報	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	8,968	3,151	3,395	5,960	368	
	直接経費 A	8,593	2,780	3,031	5,584	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8,593	2,780	3,031	5,584	0
人件費 B	375	371	364	376	368		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中心市街地での開業者数	件	目標	3	1	1	1	1
	実績	2	0	1	3	2			
(指標の説明) 事業実施により開業した件数									
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 商業振興係 0857-20-3222 【9次総の施策体系】 4203、5103、5104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次： 平成26年度2月補正予算（一般会計（経済対策分））・P9（経006）</p> <p>【事業の概要】 チャレンジジョブ事業は、中心市街地の空き店舗を整備したうえで安価な家賃で貸し出し、開業の初期投資の軽減を図るとともに、入居者への経営指導等を行ってきた。（平成16年度～） 平成27年度からは従来のチャレンジジョブ事業の見直しを行い、創業チャレンジサポート事業として再スタートした。これは、中心市街地での創業希望者に家賃補助を行い、経営全般のサポートを行う新たな創業支援制度であり、中心市街地の活性化や新規創業者への支援を行っていくものである。</p> <p>○事業の内容</p> <p>①中心市街地における新規創業者への家賃補助 （4/5補助、上限8万円/月） 最大1年間 年間2件まで</p> <p>②チャレンジサポート事業運営協議会事務委託 委託先：鳥取商工会議所 ・対象者への経営支援業務（物件探し、資金調達、PR等の経営全般のサポート） ・チャレンジサポート事業に係る広報業務 ・チャレンジサポート事業運営協議会に関する業務</p> <p>【事業の成果】 平成25年度：3,031千円 平成26年度：5,584千円 平成27年度：1,380千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き事業を継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地での開業者数	67%		100%	300%	200%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の空き店舗活用促進による賑わい創出と、新規創業支援の充実による創業促進の観点から、市の観点が必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	卒業生75人のうち、53人が開業しており、地元商業者の育成につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	従来のチャレンジジョブ事業から家賃補助を主体とする創業チャレンジサポート事業に移行したことで店舗改修費等を抑えることができた。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	次世代の地元商業者個人の掘り起し、育成を目的とし、公募・審査会方式となっているため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	本事業は、今後「起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業」の中で継続して運営していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001939	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取城跡観光推進事業		所属名	都市整備部 都市環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成31年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	直営
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	街なみ環境整備事業費(久松地区)			予算事業コード	01-07-05-01-23-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取城跡のお堀とお堀端の道路の景観
意図 (どのような状態にするために)	鳥取城跡のお堀とこのお堀端の道路が一体となった景観形成を進める。
手段 (どうするのか)	行政と地域住民が役割分担し、住民との協働によりお堀端景観の整備を行なう。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 地元説明 整備方針 整備計画策定	平成24年度 地元説明 整備方針 整備計画策定	平成25年度 地元説明 関係機関との調整	平成26年度 地元説明 関係機関との調整 街なみ環境整備基本設計策定	平成27年度 地元説明 関係機関との調整 街なみ環境整備実施設計策定
	年度別実績	地元説明	地元説明	地元説明 関係機関との調整	地元説明 関係機関との調整 街なみ環境整備基本設計策定	地元説明 関係機関との調整 街なみ環境整備実施設計策定
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	0	0	0	12,611	20,451
	直接経費 A	0	0	0	8,850	16,772
	国・県	0	0	0	4,424	2,199
	地方債	0	0	0	0	13,800
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	4,426	773
人件費 B	0	0	0	3,761	3,679	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		街なみ環境整備基本設計策定		目標	0	0	0	100	0	
			実績	0	0	0	100	0		
	(指標の説明) 鳥取城跡のお堀端の景観整備に関する基本設計									
	2	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		街なみ環境整備実施設計策定		目標	0	0	0	0	1	
		実績	0	0	0	0	1			
(指標の説明) 鳥取城跡のお堀端の景観整備に関する実施設計										
3	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 景観緑化係 0857-20-3271</p> <p>【9次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：9月補正予算・P20（都002）</p> <p>【事業の概要】 鳥取城跡を間近に望むお堀に面した地区は、鳥取市景観計画の定める久松山山系景観形成重点区域の中心に位置し、市内観光の中心であるとともに市民生活の場である。 また平成32年度を目途に大手登城路復元整備が進められている。 このため、城下町の面影が伝わる景観形成を目指して、街なみ環境整備事業を行うものである。</p> <p>【事業の成果】 市道山の手通り街なみ環境整備事業 平成26年度 市道山の手通り街なみ環境整備基本設計業務 8,850千円 平成27年度 市道山の手通り街なみ環境整備実施設計業務 16,772千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 お堀端周辺の道路整備（カラー舗装、電線の地中化など）工事が円滑に行えるよう、地域住民等との協議調整を図る。 なお、本事業は社会資本整備総合交付金・街なみ環境整備事業により実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	街なみ環境整備基本設計策定				100%	
	2	街なみ環境整備実施設計策定					
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市道整備のため市が関与すべきであり、鳥取城跡を中心とした街なみ整備が必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	鳥取城跡の復元整備とあわせた城下町の面影が伝わる景観形成を構築するためには欠かせない事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)を活用している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内観光の中心である鳥取城跡周辺の整備である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成28年度に用地取得を行い、平成29年度から工事及び移転補償等を順次行っていく。		